

日本共産党



命まもることを最優先に

コロナ対策で緊急提案

新型コロナウイルスの感染爆発、医療崩壊が深刻。命を守ることを最優先にした対策、「目の前の命を救う」ことが必要です。日

共産党が新ポスター

共産党が新しいポスターを発表しました。コロナ感染の広がりの中で、命を何より大切に政治の実現を訴えます。

本共産党は8月19日、政府に対し①「原則自宅療養」の方針を撤回し、政府が責任を持って臨時の医療施設を大規模につくること、②感染拡大を抑えるために、行政検査を拡大し、事業所や学校などが行う検査への思い切った補助を行うことなどを提案しています。

安倍・菅政治の破たん

自公の責任問われる

菅首相の政権投げ出しは、9年間の安倍・菅政治の破綻であり、自公の共同責任が問われています。

コロナ無策

4度目の緊急事態宣言が出される中、東京五輪を強行し感染爆

発と医療崩壊を招きました。自己責任を押し付け、「原則自宅療養」の方針には大きな批判が。

強権政治

異論排除の強権政治——理由も言わずに学術会議会員の任命

を拒否。民意無視の辺野古新基地建設。沖縄戦没者の遺骨が混じる土砂を建設に使う冷酷さです。

政治腐敗

安倍前首相の「桜を見る会」前夜祭疑惑、河井克行・案里夫妻の大規模買収事

件など数々の「政治とカネ」疑惑。全く説明せず、何の反省もありません。

維新 首相の労ねぎらう

「世間から批判されていますけど、菅首相は改革派」と大阪・吉村知事。菅首相を「お疲れさま」とねぎらう維新は異様です。松井大阪市長は福島原発の汚染水の海洋放出を「逃げずに実現」と評価しました。民意無視で両者は共通です。

共産党が2030戦略

気候危機 打開へ

共産党は1日、2030年度までに二酸化炭素(CO₂)を50～60%削減するという目標を掲げた「気候危機を打開する日本共産党の2030戦略」を発表しました。

2030年までの10年足らずの間に、全世界

のCO₂排出を半分近くまで削減できるかどうか人類の未来がかかっています。「戦略」は世界の科学的知見、環境団体や専門家の探求や提言を踏まえ、半年間かけて練り上げたものです。

2030戦略のポイント

- 1、気候危機と呼ぶべき非常事態
- 2、自公政権の4つの問題点
- 3、日本共産党の提案
- 4、社会システムの大改革を
- 5、脱炭素と貧困・格差是正を柱にした改革で、持続可能な成長を

(全文は日本共産党のホームページでお読みください)